

## 平成 28 年第 4 回防府市議会定例会会議録（その 5）

○平成 28 年 10 月 3 日（月曜日）

---

### ○議事日程

平成 28 年 10 月 3 日（月曜日） 午前 10 時 開議

- 1 開 議
- 2 会議録署名議員の指名
- 3 市長行政報告
- 4 庁舎建設調査特別委員会の中間報告
- 5 認定第 1 号 平成 27 年度決算の認定について  
(一般・特別会計決算特別委員会委員長報告)
- 6 議案第 83 号 平成 27 年度防府市水道事業剰余金の処分について  
議案第 84 号 平成 27 年度防府市公共下水道事業剰余金の処分について  
認定第 2 号 平成 27 年度防府市上下水道事業決算の認定について  
(以上上下水道事業決算特別委員会委員長報告)
- 7 議案第 87 号 防府市山頭火ふるさと館設置及び管理条例の制定について  
(総務委員会委員長報告)  
議案第 93 号 平成 28 年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第 2 号）  
議案第 94 号 平成 28 年度防府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）  
議案第 95 号 平成 28 年度防府市駐車場事業特別会計補正予算（第 1 号）  
議案第 96 号 平成 28 年度防府市交通災害共済事業特別会計補正予算（第 1 号）  
議案第 98 号 平成 28 年度防府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）  
(以上環境経済委員会委員長報告)
- 議案第 97 号 平成 28 年度防府市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）  
(教育厚生委員会委員長報告)
- 8 議案第 92 号 平成 28 年度防府市一般会計補正予算（第 5 号）  
(予算委員会委員長報告)
- 9 報告第 36 号 変更契約の報告について

- 10 議案第 99号 財産の取得について
  - 11 議案第100号 財産の取得について
  - 12 議案第101号 平成28年度防府市一般会計補正予算（第6号）
  - 13 議案第102号 防府市議会委員会条例中改正について
  - 14 常任委員会の閉会中の継続調査について
- 

○本日の会議に付した事件

目次に記載したとおり

---

○出席議員（24名）

1番	高砂朋子君	2番	山田耕治君
3番	木村一彦君	4番	橋本龍太郎君
5番	吉村弘之君	6番	安村政治君
7番	松村学君	8番	上田和夫君
9番	行重延昭君	10番	中林堅造君
11番	清水浩司君	12番	藤村こずえ君
13番	和田敏明君	14番	山本久江君
15番	河杉憲二君	16番	山根祐二君
17番	山下和明君	18番	三原昭治君
19番	久保潤爾君	20番	田中健次君
21番	田中敏靖君	22番	平田豊民君
23番	今津誠一君	25番	安藤二郎君

---

○欠席議員

なし

---

○説明のため出席した者

市長	松浦正人君	副市長	中村隆君
教育長	杉山一茂君	代表監査委員	中村恭亮君
総務部長	藤津典久君	総務課長	河田和彦君
総合政策部長	平生光雄君	生活環境部長	岸本敏夫君
健康福祉部長	林慎一君	産業振興部長	神田博昭君

土木都市建設部長 友 廣 和 幸 君 入札検査室長 内 田 和 男 君  
会計管理者 山 内 博 則 君 農業委員会事務局長 中 司 透 君  
監査委員事務局長 平 井 信 也 君 選挙管理委員会事務局長 賀 谷 一 郎 君  
消 防 長 三 宅 雅 裕 君 教 育 部 長 末 吉 正 幸 君  
上下水道局長 清 水 正 博 君

---

○事務局職員出席者

議会事務局長 岩 田 康 裕 君 議会事務局次長 栗 原 努 君

---

午前10時 開議

○議長（安藤 二郎君） 定足数に達しておりますので、ただいまから本日の会議を開きます。

---

会議録署名議員の指名

○議長（安藤 二郎君） 本日の会議録署名議員を御指名申し上げます。9番、行重議員、10番、中林議員、御兩名にお願い申し上げます。

議事日程につきましては、お手元に配付してあります日程に基づいて進行したいと思っておりますので、よろしく御協力のほどお願い申し上げます。

---

市長行政報告

○議長（安藤 二郎君） これより市長の行政報告を受けます。市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 全国市長会会長代理への就任について御報告申し上げます。

皆様御存じかと存じますが、私は、全国市長会におきまして、本年6月から地方創生担当として副会長に再度就任したところでございます。会長には、新潟県長岡市の森民夫市長が就任されておりましたが、このたび、森会長が新潟県知事選挙に立候補するため、9月6日をもって長岡市長を辞職され、全国市長会の会長につきましても同日付で退任されたところでございます。

これに伴い、全国市長会会則の規定により、私を含む12名の副会長により協議を行った結果、9月7日から私が会長代理に就任いたしましたので、御報告させていただきます。

次期会長が正式に決定する平成29年6月まで大役を務めさせていただくこととなりますが、防府市長としての職責を全うしつつ、全国813市区長の代表者として、基礎自治

体の声が国政に反映されるよう、覚悟を新たに尽力してまいり所存でございますので、引き続き御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

以上、御報告申し上げます。

○議長（安藤 二郎君） ただいまの市長行政報告に対する質疑がございましたら、お願いいたします。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 質疑を終結し、市長行政報告を終わります。

---

#### 庁舎建設調査特別委員会の中間報告

○議長（安藤 二郎君） この際、庁舎建設調査特別委員会より、審査の過程について中間報告をしたい旨の申し出がありましたので、これを許します。田中健次特別委員長。

〔庁舎建設調査特別委員長 田中 健次君 登壇〕

○20番（田中 健次君） 去る6月23日及び9月28日に庁舎建設調査特別委員会を開催しましたので、その概要について御報告申し上げます。

初めに、6月23日に開催しました委員会では、執行部から、「前回の特別委員会においては、市民への情報提供が論点の一つとなりました。このことは大変重要な事柄であり、適切な形で実施する必要があることから、その対応を協議した結果、基本構想・基本計画のパブリックコメント実施期間中に建設候補地である佐波地区での地元説明会及び市民を対象としたシンポジウム等を開催し、市民への情報提供を図ってまいります」との説明がありました。

これを受け、「パブリックコメントの時期はいつごろになるのか」との質疑に対し、「基本構想・基本計画（案）の立案後となり、早くても1月ごろになるものと考えています」との答弁がございました。また、「シンポジウム等については、どのような内容を考えているのか」との質疑に対し、「例えば、基調講演の後にコーディネーターと数人のパネラーによるディスカッションを行うというようなことが考えられますが、内容については、これから検討いたします」との答弁がございました。これに対し、「シンポジウムでは、外部委員会が選定した駅北公有地のみならず、現庁舎敷地でのイメージパースを示すなどの方法は考えているのか」との質疑に対し、「シンポジウムは駅北公有地エリアを建設候補地として立案する基本構想・基本計画（案）をもとに行う予定としています。候補地については、今まで市民の代表である外部委員会で検討してきたため、2つの候補地のイメージパースを提示することは考えていません」との答弁がございました。

これらの質疑を経て、執行部退席の上、前回の特別委員会での委員長提案に対する各会

派での検討結果を報告していただきました。その結果、市民への情報提供が不足しており、シンポジウム等を開催し、市民の意見を広く聞く必要があることについての意見はまとまりましたが、2つの候補地のイメージパースを示し、次の段階に進むことを判断することについては、意見が別れることとなりました。

一方、今回、前段で執行部よりシンポジウム等の開催についての提案を受けましたので、再度今後の対応について協議いたしました。主な意見としては、一つには「シンポジウム等の開催はパブリックコメントより早い時期に行う必要がある」、一つには「駅北公有地エリアだけでのシンポジウムでは意味がない。対立軸となる候補地を提示して行うべきである」、一つには「市民への情報提供や意見を聞くということについては、執行部に限定せず、議会がそれをやることも可能ではないのか」、一つには「シンポジウムを開催するにしても、もととなる基本計画等が必要である」、一つには「シンポジウムを駅北公有地エリアのみで行い、その結果、駅北で問題があるようなら場所を再検討することでもよいのではないか」などの意見が出されました。

協議の結果、特別委員会の今後の対応として、シンポジウム等はできるだけ早い時期に開催することを要望し、その内容等については、今後協議していくことといたしました。

次に、9月28日に開催しました委員会では、執行部より、駅北公有地エリアを建設候補地とした「防府市庁舎建設基本構想・基本計画（案）」の中間報告についての説明を受けました。

これに対する主な質疑等申し上げますと、「駅北公有地エリアには、東西方向に2本の市道が通っており、庁舎建設により通れなくなった場合、つけかえを行う必要があるとのことだが、つけかえの際の手法としては、区画整理や再開発などの事業手法をとる必要があるのではないのか」との質疑に対し、「土木の担当とも話をしておりますが、そのような事業化は必ずしも必要ないと認識しています」との答弁がございました。

次に、「今後作成される敷地集約手法の項目の中に、市街地再開発事業や土地区画整理事業の項目が明記されている。今までの資料の中では、はっきりと明記されていない項目であり、この方法を本当に実施する意図があるのか」との質疑に対し、「この項目ではこの事業手法をとった場合の時間や費用などの問題点を一般論として整理し、事業の効果を検証することを考えていますが、章立てや項目の表現も含め再考したいと思います」との答弁がございました。

最後に、「この基本構想・基本計画（案）の中には、市民の方にわかりにくい表現や文言が使用されているので、注釈や解説の明記をお願いしたい」との要望がございました。

以上が委員会での主な質疑でございます。なお、今までの委員長報告を整理した中間報

告書を作成し、お配りすることとしておりますので、ごらんいただきますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、庁舎建設調査特別委員会の中間報告とさせていただきます。

○議長（安藤 二郎君） ただいまの特別委員会の中間報告に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 以上で、庁舎建設調査特別委員会の中間報告を終わります。

---

### 認定第1号平成27年度決算の認定について

#### （一般・特別会計決算特別委員会委員長報告）

○議長（安藤 二郎君） 認定第1号を議題といたします。

本件については、一般・特別会計決算特別委員会に付託されておりましたので、委員長の報告を求めます。行重特別委員長。

〔一般・特別会計決算特別委員長 行重 延昭君 登壇〕

○9番（行重 延昭君） さきの本会議におきまして、一般・特別会計決算特別委員会に付託となりました認定第1号平成27年度決算の認定につきまして、去る9月21日、23日、26日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告を申し上げます。

本決算の認定につきましては、決算書並びに成果報告書を参考にしながら、一般会計及び特別会計について、各会計ごとにその執行状況等について審査を行ったものでございます。

それでは、一般会計決算の審査の過程における主な質疑・要望等につきまして、各常任委員会所管ごとに御報告を申し上げます。

まず、総務委員会所管につきまして御報告を申し上げます。

主な質疑等につきましては、「防災士養成講座委託業務について、この制度を利用した資格取得者の目標人数と、これまでに資格を取得した人数は何人か」との質疑に対して、「自治会や各消防団から申請された人を対象に、平成25年度からの5年間で300人の資格取得を目標としており、これまでの3年間で141名の方に資格取得をしていただきました」との答弁がございました。これに対し、「他市によっては、学生などの若い人の中には自己負担でも資格を取得する人がいる。本市でも自治会や各消防団から推薦された人だけでなく、学生などの若い人でも防災士の資格がとれるよう研究してはどうか」との質疑に対して、「対象者については、学生や企業の方々などに広げることは検討しているところでございます。あわせて自己負担についても検討していきたいと考えております」

との答弁がございました。

また、自治会防犯灯整備事業について、「LED防犯灯の設置率は93%となっており、LED化は完了間近となっている。今後、この制度の利用は減少していくと思われるが、これに代わる新たな事業展開は考えているか」との質疑に対し、「まだ実施していない自治会もあるので、この制度は続けていく必要があると考えていますが、自治会が設置する防犯灯の中で、通学路などの特定の場所に防犯灯を設置できるよう制度を充実しております」との答弁がございました。

また、山頭火ふるさと館整備事業について、「購入した展示資料等の内訳と購入先はどうか」との質疑に対し、「購入した資料の総数は約200点で、その内訳は、掛け軸10点、短冊60点、色紙20点、手紙など10点、その他の作品が100点程度となっており、コレクターの方や古書店が主な購入先となっています」との答弁がございました。

これに対し、「購入金額はどのように決めたのか」との質疑に対し、「基本的には、相手方の提示額をベースに交渉を行っていますが、必要に応じて山頭火ふるさと館のアドバイザーの方に相談しております」との答弁がございました。

以上、総務委員会所管について御報告をいたします。

続きまして、教育厚生委員会所管につきまして、御報告を申し上げます。

まず、健康福祉部所管の一般会計に関する主な質疑等でございますが、「生きがい活動支援事業については、予算執行率が35%程度にとどまっている。要介護状態になることを予防するための非常に重要な事業であると考えているが、現状の分析と今後の方向性はどうか」との質疑に対し、「利用実績が低調であったのは、利用者の中に、要介護認定を受けて事業対象から外れた方がおられたことや、新たに介護保険の2次予防事業の対象となられた方について、介護予防事業のプログラム利用をお勧めする機会が多かったことなどによるものと考えております。なお、平成29年度から開始する新しい総合事業においては、数種類の通所介護事業の設定を予定しており、当事業につきましては、今後、新事業への振りかえも検討しております」との答弁がございました。

また、「最近、若い世代の乳がんが増えており、現在40歳以上が対象の乳がん検診について、より若年での受診を望む市民の声も聞かれる。今後、対象を引き下げる考えはないか」との質疑に対し、「厚生労働省では、現在30歳代の乳がん検診について超音波検査と視触診を合わせた形の検診が検討されており、本市といたしましては、国の新たな指針を待って検診事業を進めてまいりたいと考えております」との答弁がございました。これに対し、「市民の要望をしっかりと受けとめて、国・県へ働きかけていただきたい」

との要望がございました。

次に、教育委員会所管の一般会計に係る質疑等の主なものを申し上げます。

「平成27年度に富海小・中学校へ校区外から転入学した児童・生徒7人について、遠方からの通学者はあるのか。また7人全員に対し、通学費用の補助を実施したのか」との質疑に対し、「大道、小野などから通学する児童・生徒がおります。通学費用につきましては、保護者の送迎による通学者が1人おりましたことから、6人に対し補助を行っております」との答弁がございました。

また、「特別支援教育推進員の方が、要支援と思われる子どもの状況確認のため、ある保育園を訪問された際、同園には当該園児のほかにも5歳児発達相談を通じて、福祉の観点から支援を検討中の園児が在籍していることを把握されていなかったという事例があった。今後は、健康福祉部との連携を考慮していただきたいが、これについてどのように考えているか」との質疑に対し、「特別支援教育推進員は、5歳児発達相談会の会場へ赴き、参加者の方の話を聞くようにしており、就学に関しての特別の支援が必要な子どもには、個別訪問に当たっております。御指摘いただきましたとおり、特別な教育的支援の必要な子どもの支援に当たっては、福祉と教育の連携が大切であることを認識しておりますので、支援体制等につきまして、今後、検討いたします」との答弁がございました。

これに対し、「特別な支援を要する子どもは年々増加しており、本市も教育部、健康福祉部において、それぞれ諸事業に取り組んでいるが、小学校への円滑な就学につながるよう、相互に意思疎通を図りながら支援に努めていただきたい」との要望がございました。

次に、環境経済委員会所管につきまして御報告を申し上げます。

まず、生活環境部所管の一般会計に係る主な質疑等でございますが、「市税等の徴収業務については、コンビニエンスストアの納付があるが、その収納額と効果についてはどうか」との質疑に対し、「収納額につきましては、平成25年度が約13億6,000万円、平成26年度が約14億9,000万円、平成27年度が約15億2,000万円と増えており、効果が上がってきているものと考えております」との答弁がございました。

次に、産業振興部所管の一般会計に係る質疑等の主なものを申し上げますと、「新規就農者支援事業について、実際に支援を受け、その後、継続して農業に従事されている方はおられるのか」との質疑に対し、「事業は、平成24年度から開始しており、支援期間は5年間であります。そのため、就農給付金による支援が終了する平成29年度以降、自立した農業経営ができているか確認し、定着できたか判断してまいります」との答弁がございました。これに対し、「支援が終了してからも、定着や経営の状況等をしっかり調査し、今後に生かしていただきたい」との要望がございました。

次に、土木都市建設部所管の一般会計に係る質疑等の主なものを申し上げます。

「住宅・建築物耐震化促進事業については、木造戸建住宅の耐震診断における耐震診断員の派遣により、診断件数は増えてきたが、まだまだ少ない状況にある。周知方法にさらなる工夫が必要ではないか」との質疑に対し、「市広報やホームページ等でPRしておりますが、文字が多くわかりづらい点もあるかと考えておりますので、今後、見た目のわかりやすさに配慮をするなど工夫に努めてまいります」との答弁がございました。また、「住宅耐震改修の補助件数も思うように伸びていない。課題をどのように受けとめているか」との質疑に対し、「補助金の上限が60万円で、改修に係る費用と比較して少額であることが一因と考えております。今後、国や県の動向を見ながら、補助金額も含め、検討してまいりたいと考えております」との答弁がございました。

続きまして、各特別会計決算の主な質疑等でございますが、まず、「競輪事業特別会計決算については、競輪場施設整備基金に約3億5,000万円を積み立てているが、今後の施設整備についてどのように考えているのか」との質疑に対し、「バンクにつきましては、20年以上改修ができておりませんでした。今年度、改修の実施設計を行い、来年度下期から工事に着手したいと考えております。また、メインスタンドにつきましては、来年度に耐震診断を実施し、その結果に基づいて、改修も含め、今後の方針を検討してまいります」との答弁がございました。

次に、国民健康保険事業特別会計決算については、「特定健康診査・特定保健指導事業について、いずれも受診率が低い。今後、受診率を上げる対策をどのように進めていくのか」との質疑に対し、「現在、市広報でのお知らせや医療機関、ショッピングモールなどへのポスター掲示等を行っております。また、特定保健指導につきましては、平成27年度から、保健センターの職員が電話での直接受診勧奨をしております。今後も受診率の向上のため、引き続きさまざまな対策を検討してまいります」との答弁がございました。

なお、介護保険事業、索道事業、と場事業、青果市場事業、駐車場事業、交通災害共済事業、後期高齢者医療事業の各特別会計の決算につきましては、特に御報告申し上げる質疑等はございませんでした。

審査を尽くしたところで、認定について討論を求めましたところ、「一般会計においては、介護、医療、生活保護など、国の社会保障制度の改悪を大筋において受け入れるものとなっていること。行政改革の推進により職員数が削減される中、業務量は増大しており、技術職員の不足は深刻であること等、当初予算で反対した内容がそのまま執行されていることから承認できない」との反対意見がありました。また、競輪事業特別会計については、「駐車場として借り受けている競輪場北側の用地について、低利用の借地があることから、

契約内容等の見直しを検討してはどうか」との要望がありました。また、「国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計については、当初予算で保険料負担の軽減を求めたが、実施されていないことから承認できない」との反対意見がありました。

討論を終結し、挙手による採決の結果、賛成多数により承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほど、お願いをいたします。

○議長（安藤 二郎君） ただいまの委員長報告に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 質疑を終結して討論を求めます。松村議員。

○7番（松村 学君） ただいま議論されています平成27年度決算の認定につきまして、賛成の立場で討論いたします。

特段申し上げたいのは、生活交通対策事業であります。

高齢者人口も本市は30%を超えまして、まさにこの事業の必要性については待ったなしであると言えます。27年度におきましては、赤字路線25系統の欠損金の補助ということで、生活バス路線対策費補助金が4,466万円と年々増加しておる一方、試験的に地域の強い要望で始まりましたデマンドタクシー運行事業が、当初予算が、たしか300万円ぐらいだったと思いますが、57万円の執行ということで、非常に見直しを迫られているということで、ぜひ、これにつきましては、対象区域を拡大したり、ルート設定も、ぜひスーパーや病院に直結するような、まさに地域のそういった高齢者の方々が一番行きたいようなところへ行けるような、便利な地域の交通を確立していただきたい。ぜひ、その他の地域、ほかにも富海から大道まで、かなり幅広く、江泊、また向島、西浦等々ございますけども、それらの地域にも、速やかにこのデマンドタクシー、そういった地域交通が確立できますよう強く要望いたしまして、賛成の討論といたします。

○議長（安藤 二郎君） ほかにございませんか。山本議員。

○14番（山本 久江君） ただいま議題となっております認定第1号平成27年度決算の認定につきまして、反対の立場で討論を行いたいと思います。

平成27年度は、相次ぐ税制社会保障制度の改悪で、国民、市民の暮らしは一段と厳しいものとなりました。

全国的な調査でありますけれども、個人消費は、平成26年度、27年度と戦後初めて2年連続マイナスとなりました。家計消費は、月ごとに見ても平成27年9月以来、2月のうるう年効果を除けば、11カ月連続で前年比マイナスが続いております。

国税庁の平成27年分の民間給与実態統計調査でも、1年を通して働いても年収が200万円以下の、いわゆるワーキングプアは1,130万人と、3年連続で1,

100万人を超えたという調査も公表されております。

こうした状況、防府市でも例外ではありませんで、こうした状況の中で、市は、住民の福祉の向上に努めるというこの自治体本来の役割をしっかりと発揮をしていく。そして、住民の暮らしと福祉を守るための施策を講じる必要がありますが、残念ながら現実には、市民の願いに十分に応えるものとなっておりません。

平成27年度の一般会計決算、実質収支12億7,800万円余りの黒字、財政調整基金と減債基金を合わせ、年度末現在高合わせますと64億円余りとなりました。市民の生活環境、福祉、教育など、もっと市民のための施策に税金を使ってほしいとの声が強く出されております。

また、この間、行財政改革の名によりまして、県内でも突出した正職員の削減が進められてまいりましたが、国や県からの権限委譲や市民ニーズの多様化に伴う仕事量、飛躍的に増えてきておりまして、一人ひとりの職員にかかる負担は極めて大きくなってきているのが現状であります。

27年度は前年度と比較し、一般会計では、正職員3名増というふうになっておりますけれども、十分とは言えず、特に技術職員の不足は深刻で、27年度も高卒土木技術採用者1名のみとなっております。市役所独自の設計施工など技術力等その継承が大きな課題であります。このことは、結果として、市民サービスの低下を招かざるを得ません。当初予算の際に、こうした行財政改革推進が全体の基調となっている中、介護、医療、生活保護等、国の社会保障制度改悪を大筋において受け入れるものとなっております。また、住民への管理、統制強化につながるマイナンバー制度導入のための情報システム再構築事業などが予算化されているといたしまして、当初予算に反対をいたしました。そのまま執行されております。

県内他市に先駆けた先進的な事業であります小学校卒業までの医療費無料化や店舗リフォーム助成事業など、大変評価ができる点はございますけれども、以上述べた点で、一般会計決算は認定しがたいものであります。

次に、特別会計決算のうち、平成27年度防府市国民健康保険事業特別会計決算、それから、平成27年度防府市介護保険事業特別会計決算について、反対の立場を表明をいたします。

まず、国民健康保険事業特別会計決算につきましては、保険料は、平成20年度から据え置かれております。この点では評価をいたしますが、その額は相変わらず市民負担の能力をはるかに超える高い保険料となっております。収入の1割を超える負担に、払いたくても払えない、こういった世帯が多くございます。医療給付費分の均等割は県内13市中

最も高く、収入のない子どもが増えれば増えるほど保険料が上がっていく、高くなっていく、こういうシステムであり、子育て支援にも逆行いたします。一般会計からの繰り入れを行うなど保険料の引き下げを行うべきでございます。

また、特定健康診査や特定保健指導事業等、保健事業に一層力を入れることが今後の課題であるという点でも指摘をさせていただきます。

以上の点で、認定しがたいということを述べさせていただきました。

次に、介護保険事業特別会計決算でございますが、平成27年度から保険料の基準額が月額5,468円ということで、前年度の26年度に比べて約15%の値上げとなりました。今日、経済状況の厳しさ、あるいは、年金額の減少等で保険料の値上げは、市民にとっては極めて負担の重いものとなっております。こうした保険料に基づく予算の執行でありますので、反対の立場を表明いたします。

以上、討論とさせていただきます。

○議長（安藤 二郎君） 田中健次議員。

○20番（田中 健次君） 認定第1号平成27年度決算認定については、反対の立場を表明いたします。

予算審査の際に、一般会計については、評価すべき点、問題のある点を述べさせていただきましたが、図書館の指定管理に当たり、予算委員会で前向きな答弁をされたことにより総合的に考えて賛成をいたしました。特別会計については、これまで問題にしてきた点がそのままであり、反対をいたしました。

すなわち、国民健康保険事業特別会計では、所得の1割を超える保険料であり、一般会計からの繰り入れを増やして保険料の軽減を図るべきである。介護保険事業特別会計については、平成27年度、大幅な介護保険料の値上げがされたこと、また、介護保険そのものが、国、地方自治体の福祉関係予算を減らし、これを保険料という形で国民・市民に転嫁する増税そのものであるということ。後期高齢者医療事業特別会計では、2年ごとの保険料見直しがされ、平成26、27年度は、平成24、25年度より所得割率0.72%、平均割額2,957円増となり、収入の少ない高齢者に国保と同様、大きな負担となっております。

そして、この後期高齢者医療広域連合が一般財源を持たないため、自治体独自の減免ができないこと、人間ドック事業も難しいものとなっていること。広域連合の議員は、各市町の長及び議会の議員から選ばれる仕組みですが、市でも13市中8市からしか議員が出せない仕組みにも問題があることを指摘いたしました。

こうした形で反対した予算が執行されたものであり、承認しがたい旨この場で申し上げ、

決算反対の討論といたします。

○議長（安藤 二郎君） ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 討論を終結してお諮りいたします。本件については、反対の意見もありますので、起立による採決といたします。

認定第1号については委員長の報告のとおり、これを認定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者 起立〕

○議長（安藤 二郎君） 起立多数でございます。よって、認定第1号については、原案のとおり認定することに決しました。

---

議案第83号平成27年度防府市水道事業剰余金の処分について

議案第84号平成27年度防府市公共下水道事業剰余金の処分について

認定第2号平成27年度防府市上下水道事業決算の認定について

（以上上下水道事業決算特別委員会委員長報告）

○議長（安藤 二郎君） 議案第83号、議案第84号及び認定第2号の3議案を一括議題といたします。

本案については、上下水道事業決算特別委員会に付託されておりましたので、委員長の報告を求めます。高砂特別委員長。

〔上下水道事業決算特別委員長 高砂 朋子君 登壇〕

○1番（高砂 朋子君） 議案第83号、議案第84号及び認定第2号の3議案につきまして、去る9月5日、委員会を開催し審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告を申し上げます。

本決算につきましては、さきに監査委員から審査意見書が提出されておりますが、委員会といたしましては、執行部から参考資料により説明を受け、審査を行ったものでございます。

初めに、議案第83号平成27年度防府市水道事業剰余金の処分について、及び議案第84号平成27年度防府市公共下水道事業剰余金の処分についての2議案につきましては、執行部の説明を了とし、御報告申し上げる事項はございませんでした。

次に、認定第2号平成27年度防府市上下水道事業決算の認定中、水道事業会計決算について、審査の過程における質疑等の主なものを申し上げます。

「水道管のうち、いわゆる塩ビ管や鋳鉄管といった老朽管は、どの程度残っているのか。

また、更新の予定はどのようになっているのか」との質疑に対し、「平成27年度末で、塩ビ管が47キロメートル、铸铁管が11キロメートル弱、残っております。老朽管の解消につきましては、平成38年度をめどに行います」との答弁がございました。また、「水道管の耐震化について、進捗具合はどのようになっているのか。また、耐震化によって、どの程度の震度まで耐えることができるのか」との質疑に対し、「平成27年度末現在、耐震化率は17.3%で年間1.5%程度ずつ耐震化を進めております。防府市水道ビジョンでは、平成31年度に耐震化率20%を目標としておりますが、現在の進捗状況でいけば、目標値を上回る見込みです。また、耐震化することで震度6強程度に耐えることができます」との答弁がございました。これに対し、「耐震化が終わってない管路が80%強残っている。ライフラインの確保は最優先であるので、一般会計からの繰り入れも検討し、計画を前倒しで進めていただきたい」との要望がございました。

また、「お客様サービスとして、漏水調査を実施してはいるが、宅内漏水の場合、漏水した量の水道料金は自己負担となるのか」との質疑に対して、「地下漏水などの発見困難なものは、減免規定により、原則、推定漏水量の2分の1を減免しております」との答弁がございました。

また、「低金利時代である今こそ、戦略的な立場で考えれば、事業費を大幅に増やすことも必要ではないか。次年度の予算編成に当たり検討していただきたい」との要望がございました。

次に、工業用水道事業会計決算につきましては、執行部の説明を了とし、御報告申し上げる事項はございませんでした。

最後に、公共下水道事業会計決算について、審査の過程における質疑等の主なものを申し上げます。

「企業債残高は、平成27年度末時点で240億円弱となっている。これまでの答弁で、企業債残高のピークは、平成31年度前後に250億円程度としたいとのことだが、これに変わりはないか」との質疑に対し、「現在の国庫補助金の交付水準が続く限りは、見込んでいる企業債残高が極端に増えることはないと考えております」との答弁がございました。これに対し、「企業債残高が増え続けていることを懸念している。今後も適正な管理に努めていただきたい」との要望がございました。

また、「下水道の有収率が前年度と比較して3.8%上がっているが、その要因は何か」との質疑に対し、「下水道管のカメラ調査等を実施し、破損場所の修繕を進めたことで、地下水の流入量が減少した結果と考えております」との答弁がございました。

審査を尽くしたところでお諮りいたしましたところ、まず、議案第83号平成27年度

防府市水道事業剰余金の処分について及び議案第84号平成27年度防府市公共下水道事業剰余金の処分についての2議案につきましては、全員異議なく、原案のとおり承認いたしました。

次に、認定第2号平成27年度防府市上下水道事業決算の認定につきましては、「水道事業会計については、平日夜間、土日の水道施設運転管理等業務が民間委託されていることに対し、当初予算の審議の際に反対の立場を表明している。その当初予算が執行された決算であるため、反対する」との意見がございましたので、挙手による採決の結果、賛成多数により、原案のとおり承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほど、お願いをいたします。

○議長（安藤 二郎君） ただいまの委員長報告に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 質疑を終結して一括して討論を求めます。田中健次議員。

○20番（田中 健次君） 上程されております3議案のうち、認定第2号の上下水道決算については反対、それから剰余金処分にかかわる他の2議案については賛成の態度を表明いたします。

水道事業会計につきましては、予算審議の際に、平日夜間、土日の水道施設運転管理業務が民間に委託されておりますが、市民の基本的なライフラインをこうした形で委託することに反対をいたしました。

その予算が執行されたものであり、この決算認定についても承認しがたい旨態度を表明いたします。

○議長（安藤 二郎君） ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 討論を終結してお諮りいたします。

最初に、議案第83号、議案第84号の2議案については、委員長報告のとおりこれを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第83号、議案第84号の2議案については、原案のとおり可決されました。

次に、認定第2号についてお諮りいたします。本件については、反対の意見もありますので起立による採決といたします。

本件については、委員長の報告のとおり、これを認定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者 起立〕

○議長（安藤 二郎君） 起立多数でございます。よって、本件については、原案のとおり認定することに決しました。

---

議案第 87 号防府市山頭火ふるさと館設置及び管理条例の制定について

（総務委員会委員長報告）

議案第 93 号平成 28 年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第 2 号）

議案第 94 号平成 28 年度防府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）

議案第 95 号平成 28 年度防府市駐車場事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 96 号平成 28 年度防府市交通災害共済事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 98 号平成 28 年度防府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）

（以上環境経済委員会委員長報告）

議案第 97 号平成 28 年度防府市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）

（教育厚生委員会委員長報告）

○議長（安藤 二郎君） 議案第 87 号及び議案第 93 号から議案第 98 号までの 7 議案を一括議題といたします。まず、総務委員会に付託されておりました議案第 87 号について、総務委員長の報告を求めます。橋本総務委員長。

〔総務委員長 橋本龍太郎君 登壇〕

○4 番（橋本龍太郎君） さきの本会議におきまして、総務委員会に付託となりました議案第 87 号につきまして、去る 9 月 16 日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

議案第 87 号防府市山頭火ふるさと館設置及び管理条例の制定についての質疑等の主なものを申し上げますと、「休館日が年末の 12 月 26 日から 12 月 31 日までとなっているが、1 月 1 日から開館するのか」との質疑に対し、「当初の基本計画では、年末年始の休館日を 12 月 29 日から 1 月 3 日までと設定しておりましたが、天満宮及びうめてらすにお越しになる方々で、年間を通じて一番多いのが 1 月 1 日からの数日間でございます。その方々に足を運んでいただきたいという考えがございますので、年末年始ではなく、年末に設定しております」との答弁がございました。

また、「観覧料等の減免規定があるが、どのような場合に該当するのか」との質疑に対しましては、「まず、観覧料の免除については、1 つ目に、市内の小・中学校及び高校が教育活動の一環として観覧または使用する場合。2 つ目に、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の交付を受けておられる方及びその介添えの方が観覧される場合。

3つ目に、市又は教育委員会が主催をする行事の場合を想定しております。また、観覧料の減額につきましては、市又は教育委員会が共催をする行事の場合を想定しております」との答弁がございました。

また、「観覧目的以外に、授乳室や多目的トイレの利用を希望された場合の対応はどうか」との質疑に対しましては、「基本的に、交流室・授乳室・トイレ・休憩コーナーについては、無料をご利用いただくことができます。館内に、有料と無料の区別がわかる表示を行うこととしております」との答弁がございました。これに対しまして、「館内の表示も必要だが、外から見ても施設の一部を無料で使用できることが分かるような表示をお願いしたい」との要望がございました。

審査を尽くしたところで、お諮りいたしましたところ、全員異議なく原案のとおり承認いたしました次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（安藤 二郎君） 次に、環境経済委員会に付託されておりました議案第93号から議案第96号まで及び議案第98号の5議案について、環境経済委員長の報告を求めます。上田環境経済委員長。

〔環境経済委員長 上田 和夫君 登壇〕

○8番（上田 和夫君） さきの本会議におきまして、環境経済委員会に付託となりました議案第93号から議案第96号まで及び議案第98号の5議案につきまして、去る9月16日、委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告を申し上げます。

初めに、議案第96号平成28年度防府市交通災害共済事業特別会計補正予算（第1号）についての質疑等の主なものを申し上げますと、「交通災害共済の加入申込書について、個人情報の保護を図るため様式を変更するということだが、どのように変更するのか」との質疑に対し、「交通災害共済の申し込みについては、加入申込書を、自治会を通じて市に提出をいただいております。現在の加入申込書の様式では、生年月日等が見える形となっておりますので、個人情報保護シールを同封することで対応いたします」との答弁がございました。これに対し、「個人情報の保護は、今の時代必要なことなので、しっかりと取り組んでいただきたい」との要望がございました。

次に、議案第93号平成28年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第2号）、議案第94号平成28年度防府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）、議案第95号平成28年度防府市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）及び議案第98号平成28年度防府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）の4議案については、執行部の

説明を了とし、特段御報告申し上げる質疑等はございませんでした。

審査を尽くしたところでお諮りいたしましたところ、5議案とも全員異議なく、原案のとおり承認いたしました次第でございます。

以上、本委員会に付託されました5議案について御報告申し上げますので、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（安藤 二郎君） 次に、教育厚生委員会に付託されておりました議案第97号について教育厚生委員長の報告を求めます。河杉教育厚生委員長。

〔教育厚生委員長 河杉 憲二君 登壇〕

○15番（河杉 憲二君） さきの本会議におきまして、教育厚生委員会に付託となりました議案第97号平成28年度防府市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）につきまして、去る9月16日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

当委員会といたしましては、特に御報告申し上げる質疑等もなく、執行部の説明を了とし、全員異議なく、原案のとおり承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほど、お願いいたします。

○議長（安藤 二郎君） これより各常任委員長の報告に対し、一括して質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 質疑を終結して一括して討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 討論を終結してお諮りいたします。

議案第87号及び議案第93号から議案第98号までの7議案については、各常任委員長の報告のとおり、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第87号及び議案第93号から議案第98号までの7議案については、原案のとおり可決されました。

---

#### 議案第92号平成28年度防府市一般会計補正予算（第5号）

（予算委員会委員長報告）

○議長（安藤 二郎君） 議案第92号を議題といたします。本案については予算委員会に付託されておりましたので、委員長の報告を求めます。吉村予算委員長。

〔予算委員長 吉村 弘之君 登壇〕

○5番（吉村 弘之君） それでは、さきの本会議におきまして、予算委員会に付託とな

りました議案第92号平成28年度防府市一般会計補正予算（第5号）に係る委員会審査の経過並びに結果について、御報告申し上げます。

本委員会は、9月15日の全体会において、執行部の補足説明を受け質疑を行った後、9月16日に総務分科会、教育厚生分科会及び環境経済分科会を開催し、慎重に審査いたしました。

その結果、各分科会主査より、全体会で審査すべき事項はなかった旨の報告を受けておりますが、あわせて報告のありました主な質疑等を申し上げます。

総務分科会からは、業務継続計画等策定業務委託については、「全国でこの計画を策定している自治体は、約4割程度であり、さらに、国がガイドラインで示す6要素を全て盛り込んだ計画を策定している自治体は5%程度と聞いている。本市が策定する計画は、この6要素を全て含んだ計画とするのか」との質疑に対し、「国がガイドラインで示す6要素については、全て盛り込んだ計画を策定する予定です」との答弁がありました。

また、ふるさと寄附金推進事業については、「寄附をしてくださる方の居住地や、人気の高い返礼品は何か」との質疑に対し、「昨年度の寄附件数205件のうち、県外居住者165件、市外居住者17件、市内居住者23件となっております。また、今年度の返礼品では、コーヒーや紅茶、ちくわやかまぼこなどが人気となっております」との答弁がございました。

教育厚生分科会からは、今回、地域生活支援事業において、「強度行動障害を伴う障害者の方を市内の入所支援施設で受け入れるということであるが、今後、同様の障害を持つ方がほかにもおられる場合、どのように対応していくのか」との質疑に対し、「現在、障害者の支援施設はどこも定員に余裕がなく、設備や職員態勢の面からも、そのように重篤な障害をお持ちの方のさらなる受け入れは困難な状況となっております。強度行動障害を伴う障害者の方の処遇につきましては、市町単位ではなく、県域全体の課題であると考えており、去る8月30日には、医療との連携をもとにした施設の新設や既存施設の拡張について、県へ要望していただくよう、県市長会に要望議案を提案させていただいたところでございます」との答弁がございました。

また、佐波幼稚園の施設整備費補助金については、「保育所機能部分と幼稚園部分の按分修正による補正とのことであるが、社会福祉施設整備補助事業では増額。一方、認定こども園施設整備補助事業では減額となっている。これにより、補正前と比較して、補助金総額が約600万円減額となっているのは、どのような理由によるものか」との質疑に対し、「当初、国、県と協議を行った事業計画の内容の一部について、整備を急ぐ必要が生じたことから、内示を待たず工事に着手したことにより、当該部分に係る補助金を減額さ

れたものでございます」との答弁がございました。

環境経済分科会からは、市有三世代住宅基本設計・実施設計業務委託について、「今後、市内でどのように展開していこうと考えているのか」との質疑に対し、「まずは富海地域で、市有三世代住宅の事業を成功させ、その後、向島地域や小野地域等にも広げていきたいと考えておりますが、今年度から市内全域を対象に、三世代同居支援事業を実施しており、その進捗状況等も考慮しながら進めてまいりたいと考えております」との答弁がございました。

また、「地元への事業説明では、どのような意見や反響があったのか」との質疑に対し、「7月中旬に、建設予定地の富海地区に赴き、脇自治会の自治会長をはじめ地区の皆様にご説明をいたしました。その際は、三世代を対象としていることや、地区に新たな人が入ってくるということに対して御理解をいただき、歓迎していただけたと受け取っております」との答弁がございました。これに対し、「核家族化の進行など現在の状況をよく分析し、市民の意見をしっかりと聞きながら進めていただきたい」との要望がございました。

予算委員会におきましては、分科会の審査を受け、9月28日に全体会を開き、議案第92号の承認についてお諮りいたしましたところ、全員異議なく、原案のとおり承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（安藤 二郎君） ただいまの委員長報告に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 質疑を終結して討論を求めます。松村議員。

○7番（松村 学君） ただいま議題となっております議案第92号平成28年度防府市一般会計補正予算（第5号）につきまして、自由民主党一心会は賛成の立場で討論をいたします。

特に申し上げたいのは、先ほど委員長報告にもありました、ふるさと寄附金がさらに1,000万円増収となり、本年度は2,000万円の見込みであるということで、例年数百万円規模ぐらいの収入だったものが一気に改善いたしております。これは、ふるさと寄附金推進事業におきまして、返礼品の改善が大きく起因しているものであるということで、ぜひこのふるさと寄附金につきまして、また、次年度より改善またPRもしっかりしていただいて、さらにさらに増収を目指していただきたいと、強くお願いをいたしまして賛成の討論といたします。

○議長（安藤 二郎君） ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 討論を終結してお諮りいたします。

本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第92号については、原案のとおり可決されました。

---

#### 報告第36号変更契約の報告について

○議長（安藤 二郎君） 報告第36号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 報告第36号変更契約の報告について御説明申し上げます。

本案は、議決事件に該当しない契約及び財産の処分についての報告に関する条例第3条第1項の規定により、本年3月の市議会定例会において報告いたしました、中関小学校仮設教室賃貸借契約に係る変更契約につきまして御報告申し上げます。

報告いたします契約は、お手元にお示しいたしておりますとおり、平成28年1月28日に日東工営株式会社九州支店と締結いたしました、中関小学校仮設教室賃貸借契約について、契約金額の変更をしたものでございます。

これをもちまして報告にかえさせていただきます。

○議長（安藤 二郎君） 本件に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 以上で報告第36号を終わります。

---

#### 議案第99号財産の取得について

○議長（安藤 二郎君） 議案第99号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 議案第99号財産の取得について御説明申し上げます。

本案は、個人番号を利用する事務と、それ以外の事務とでネットワークを分離してセキュリティ強化対策を図るため、個人番号利用事務で使用するパソコンほか一式280台を購入しようとするものでございます。

内容につきましては、お手元の参考資料にお示しいたしておりますとおり、株式会社三友ほか3者により指名競争入札を行いました結果、株式会社常盤商会在落札いたしました

ので、これと契約を締結しようとするものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（安藤 二郎君） 本案に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 質疑を終結してお諮りいたします。本案については、委員会付託を省略したいと思いますのですが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 討論を終結してお諮りいたします。本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第99号については、原案のとおり可決されました。

---

#### 議案第100号財産の取得について

○議長（安藤 二郎君） 議案第100号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 松浦 正人君 登壇〕

○市長（松浦 正人君） 議案第100号財産の取得について御説明申し上げます。

本案は、水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防力の維持強化を図ろうとするものでございます。

内容につきましては、お手元の参考資料にお示しいたしておりますとおり、株式会社初田消火器ほか6者により指名競争を行いました結果、株式会社防府藤中ポンプ店が落札いたしましたので、これと契約を締結しようとするものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（安藤 二郎君） 本案に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 質疑を終結してお諮りいたします。本案については、委員会付託を省略したいと思いますのですが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 討論を終結してお諮りいたします。本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第100号については、原案のとおり可決されました。

---

#### 議案第101号平成28年度防府市一般会計補正予算（第6号）

○議長（安藤 二郎君） 議案第101号を議題といたします。理事者の補足説明を求めます。副市長。

〔副市長 中村 隆君 登壇〕

○副市長（中村 隆君） 議案第101号平成28年度防府市一般会計補正予算（第6号）について御説明を申し上げます。

第1条におきまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,021万7,000円を追加し、補正後の予算総額を433億3,160万9,000円といたしております。

それでは、歳入歳出補正予算の内容につきまして、事項別明細書により、御説明申し上げます。

6ページをお願いいたします。

上段の3款民生費2項児童福祉費2目子ども・子育て支援費の社会福祉施設整備補助事業及び3段目の10款教育費1項教育総務費3目教育指導費の認定こども園施設整備補助事業につきましては、認定こども園であります松崎幼稚園及び中関幼稚園の施設整備に係る補助金を、それぞれ計上いたしております。また、歳入におきましては、この経費に係る県補助金をあわせて計上いたしております。

次に、同じページ2段目の5款労働費1項労働諸費1目労働諸費の女性の活躍応援・人材確保支援事業につきましては、国の地方創生推進交付金を活用いたしまして、女性の就職と市内企業の労働者の確保を支援するための協議会の開催、市民意識の調査及び市内企業の実態調査に係る経費を計上いたしております。また、歳入におきましては、この経費に係る国庫補助金をあわせて計上いたしております。

次に、下段の10款教育費1項教育総務費3目教育指導費のやまぐちっ子学力向上推進事業につきましては、本年度、県の指定を受けました牟礼中学校、牟礼小学校及び牟礼南小学校において実施いたします、教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニン

グの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究に係る経費を計上いたしております。また、歳入におきましては、この経費に係る県委託金をあわせて計上いたしております。

次に、８ページ上段の３項中学校費１目学校管理費の中学校運営事業につきましては、市内在住の竹村荘一郎様から御寄附をいただきました、華陽中学校の図書充実のための指定寄附金を活用いたしました図書購入費を計上いたしております。

次に、２段目の４項社会教育費７目図書館費の図書館運営事業につきましては、会社の設立８０周年を記念いたしまして、三田尻化学工業株式会社様から御寄附をいただきました小・中学校用の図書充実のための指定寄附金を活用いたしました学校貸出専用図書の購入費を計上いたしております。

最後に、同じページ下段の１４款予備費につきましては、今回の補正の収支をいたしまして、補正後の予備費を５億２，２１９万２，０００円といたしております。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（安藤 二郎君） 本案に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 質疑を終結してお諮りいたします。本案については、委員会付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 討論を終結してお諮りいたします。本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第１０１号については、原案のとおり可決されました。

---

#### 議案第１０２号防府市議会委員会条例中改正について

○議長（安藤 二郎君） 議案第１０２号を議題といたします。提出者の補足説明を求めます。７番、松村議員。

〔７番 松村 学君 登壇〕

○７番（松村 学君） 議案第１０２号防府市議会委員会条例中改正について御説明いたします。

本案は、常任委員会の所管の見直しに伴い、所要の改正をするものでございます。  
よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（安藤 二郎君） ただいまの補足説明に対し、質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 質疑を終結してお諮りいたします。本案については、委員会付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 討論を終結してお諮りいたします。本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第102号については、原案のとおり可決されました。

---

#### 常任委員会の閉会中の継続調査について

○議長（安藤 二郎君） 次に、常任委員会の閉会中の継続調査についてをお諮りいたします。

各常任委員長から委員会において調査中の所管事務について、防府市議会会議規則第108条の規定により、お手元に配付いたしております申出書のとおり、閉会中の継続調査の申し出がありました。

各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査に付することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤 二郎君） 御異議ないものと認めます。よって、各常任委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査に付することに決しました。

以上で、今期定例会に付議されました案件は全て議了いたしました。

---

#### 挨拶

○議長（安藤 二郎君） さて、市議会も特に緊急の案件がない限り、本日をもって最後になると思いますので、この機会に、一言私のほうから御挨拶を申し上げます。

〔議長 安藤 二郎君 登壇〕

○議長（安藤 二郎君） 一昨年、12月定例会におきまして、議会の皆様の御推挙により名誉ある議長職に就任させていただき、本年までの2年間、多くのことを体験させていただき学ばせていただきました。この間、みずからの不徳により至らぬことばかりが思い起こされ、無念のきわみでございますが、どうにか務めることができました。

これもひとえに、議会事務局をはじめ議員の皆さん、そして執行部の皆様の御協力のおかげでありますことを改めまして心より感謝申し上げたいと存じます。

さて、この2年を振り返ってみますと、2人のすばらしい人材にお会いすることができた、何よりの収穫があった、思い起こされます。

その1人は、御存じ大河ドラマ「花燃ゆ」で主役吉田松陰の妹美和子の相手役となった楫取素彦でした。明治期の防府市を語る上で楫取素彦をおいてはできないのではないかと思います。もう一方は上山満之進という方です。台湾で人気沸騰している陳澄波という有名画家の絵が防府図書館にあるということから、上山満之進を深く知ることとなりました。上山さんは、台湾総統を務め上げ、帰国後、防府市において防府図書館の前進である三哲文庫を自費で建立した方です。参考ですが、三哲というのは、満之進さんが尊敬する吉田松陰、品川弥二郎、乃木希典のことのようですけれども、この先ほど申しました陳澄波という人の画家から満之進さんに送られた絵が、今、防府から遠く離れてしまっております。早く防府に戻ってほしいと願うばかりであります。

防府では、この2年間のうち、2人の歴史上のすばらしい人を迎え入れることになったのです。私たちは、これから本当に穏やかな気持でこの方たちを顕彰しなくてはならないと思います。そうすることが防府市を大きくする始まりではないかと思っております。

さて、本日をもって定例会は終わりましたが、残された議長の期間はなお2カ月ばかりでございます。任期終了まで御支援いただきますよう、よろしく願いいたします。

なお、私は本年をもって4期16年の議員生活に終止符を打つことにいたしました。多くの方々に心より御礼を申し上げます。大変ありがとうございました。終わります。（拍手）

次に、副議長から御挨拶を申し上げます。御登壇願います。

〔副議長 山田 耕治君 登壇〕

○副議長（山田 耕治君） それでは一言お礼の挨拶を申し上げます。

防府市は、ことし市制施行80周年を迎え、姉妹都市の方の歓迎セレモニーや式典等も無事に終えたところでございます。

このような貴重な時期に、副議長という要職につかさせていただくことになり、その責任の重さに身が引き締まる思いで取り組んでまいりました。

この1年間、副議長として円滑な議会運営のために一生懸命頑張ってきたつもりではありますが、まだまだ力不足等ありまして、同僚議員の皆様にも大変御迷惑をおかけしました。しかしながら、大過なくこの1年間、副議長という要職を務められたのは、議員の皆様のお協力があってのことだと思っております。本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今現在、防府市議会は議員定数25名のところ、重川議員の御逝去により24名での議会運営を行っています。故重川議員は、同じ会派「絆」でございました。温和な性格の方でございましたが、会派の勉強会等では常に市民目線で熱く語られていたことを今でも思い出します。議会も議会報告会等も行ってはいますが、市民の代表である議員が、一番大切にしなければいけない市民の声、市民の思いをしっかりと今後の議会活動に生かさなければならぬと、改めて痛感しているところでございます。よき先輩議員でありました故重川議員と、きょうという日を一緒に迎えられなかったのが残念でなりません。深く哀悼の意を表するところでございます。

また、防府市の明るい未来のために、政策や予算等の議論、松浦市長をはじめ執行部の皆様方、大変お世話になりました。そして、岩田局長をはじめとする議会事務局の皆様方、議会運営も含め、我々議員のサポートを快く対応していただきましたこと、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

わずか1年間ではございましたが、名誉ある副議長職に就任したことで、多くのことを経験し、そして学ばさせていただきましたこと、改めて感謝申し上げます、簡単ではございますが、皆様にお礼の御挨拶とさせていただきます。本当にお世話になりました。（拍手）

○議長（安藤 二郎君） 次に、今期をもって退任されます議員の方から御挨拶をしたい旨の申し出がございましたので、よろしく願いいたします。

最初に、山下議員より御挨拶をお願いいたします。御登壇ください。

〔17番 山下 和明君 登壇〕

○17番（山下 和明君） 本日もって、私はこの議場に足を運ぶのは、きょうが最後となります。24年という長き、短く長いような、自分はそのように、どちらつかずと受け取っておりますけれども、今改選をもちまして、私は辞任ということになります。

その間、執行部の皆様、また市長さん、また議員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

私もこの24年振り返ってみますと、脳裏に浮かんでまいりますのは、5年前、6年前でしたが、市民の方から、「山下は市長派か、反市長派か」と、こう言われる時期もございました。当時、議員定数の問題等もあったときでありました。私は先輩から教わったよ

うに、「公明党は、山下は市民派だ」と、このように市民の方に即座にそのように御返事をさせていただいたわけであります。市民の立場にスタンスを置くという心がけでまいりました。

そうしたこともありまして、議会では執行部の方々には、その声を何とか実現をしたいということで、きつい質問をしたり、また、声を張り上げて委員会をお願いしたこともあろうかと思えます。大変御迷惑をおかけしたこともあったと思えます。

ちょうどこのとき、市制が、防府市制80周年と、この節目にあと10年、20年、90周年、100周年とこう考えますところ、手が届く、そういうときを迎えているような気がいたします。当然、10年先、20年先ここにおられる方、執行部の方、大きく入れかわると思えます。やはり大事なことは、これからの90周年、100周年をどう防府市が発展をしていくか、そういうことを考えるときに、やはり後進の後輩の若い人たちの育成が大事、加速して取り組んでいただきたいなど、釈迦に説法かもしれませんが、そう思います。

また、議会の方におかれましては、この来月、11月が改選という時を迎えます。死闘のまた御心労の1カ月間であろうかとは思いますが、どうか、お体を大事にされて、再びこの場にはせ参じて、そして90周年、100周年を目指し、議会改革を中心に、本当の意味での改革をしていただきたいなど、このように思う次第であります。

粗辞ではございますけれども、この24年間、皆様方には大変お世話になりました。粗辞ではございますけれども、感謝の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。（拍手）

○議長（安藤 二郎君） 次に木村議員、御挨拶をお願いします。

〔3番 木村 一彦君 登壇〕

○3番（木村 一彦君） 平成8年に、初めて議会に出させていただきまして、今日まで5期20年、改めて振り返ってみますと、まさにあつという間でした。

しかしこの間、決して平坦な道のりばかりではなかったわけであります。例の5項目文書問題、それから平成の大合併、そして議員定数半減問題など、まさに市政を揺るがす大波を幾度もくぐり抜けてきたこの20年だったと思えます。

今、私が思いますに、この我々が住んでいる近代社会においては、権力者の圧政に対抗する庶民の最大の武器は何かと言うと、それは議会であります。ですから、明治の自由民権運動以来、私たちの多くの先輩たちが、それこそ命がけで議会の開設や普通選挙権の獲得に奔走し、多くの犠牲を払ってきた結果、今日、私たちが享受しているような議会制度や議会制民主主義というものがあるわけであります。

ですから、今、我々がこの先人から受け継いだ大変貴重な財産をきちんと受け継ぎ発展させる。中でも中核となる議会の力をもっともっと大きくしていく。仮にも、議会の力を弱めるようなことがあっては、我々のために奮闘してきた、長い歴史の中で奮闘してこられた先人たちに、まことに申しわけないことになると思います。

そういう意味で、防府市議会が今進めておられます議会改革をさらに進めて、本当に市民の絶大なる信頼を勝ち取って、市民に信頼される議会となって、一層市民の代弁者としての役割を力強く発揮する、そういう議会になられるよう、私は心からお願いをいたしまして、長い間本当にお世話になったことの御礼も含めて、御挨拶申し上げます。大変ありがとうございました。（拍手）

○議長（安藤 二郎君） 平田議員、御挨拶をお願いします。

〔22番 平田 豊民君 登壇〕

○22番（平田 豊民君） 一言御挨拶申し上げます。

NHKのテレビBSで先般テレビを見ておりましたら、御存じかもしれませんが、「こころ旅」という番組で、火野正平さんが、視聴者の思い出の場所を尋ねて自転車旅をするというのがテーマでございました。その中に、彼がこういうことをその番組の中で申しました。「人生下り坂最高」と。そのとき聞き終わりましたつくづく思いました。まさしく自分自身がその状況に至ってるんだなと、運よく引き継がなきゃいけないことも、全て小さいことも終わりました、本当下り坂に今つぶては一つもないと。ただ、じっと乗っておれば下っていくというところにあると、私は自覚しております。

そういうような状況で、先般、エンディングノートというものを家内が本屋から買ってまいりまして、書いておけと。その遺言書に書かなきゃいけないような財産分与のようなことはございません、私個人には。ただ、終末医療だけは勘弁してくれ、尊厳死だけはよろしくということだけ一応、書く項目がございますんで書いておきました。そのとおりにやってくれるんだろうと思います。

今まで振り返りまして、議会でのお仕事のお手伝いは、全然いたしてまいりませんでした。しかし、議員となるときに掲げました、頭の中に掲げました椿峠国道2号線の4車線化、それから、富海地区への下水道の布設と、それから3つ目が、小・中だんだん寂れてまいりますので、学校というものをとどめおくためにということで、一生懸命小中一貫校を執行部の皆様方とともにやりました。

一応、主な目的は達成いたしました。今一番いいのは、先ほど申しましたが、何の不安もなく今まで手がけてたものを次の方にお渡しして、今もう富海での議席を得るよう一生懸命頑張ってくれております。1カ月ちょっとで、また皆様方再選という行事に入ら

れて、いろいろ今御苦勞されておると思います。今、私の家内が一番今ルンルンでございます。だから、皆様方の奥様方の御苦勞が大変だということを盛んに申しておりますから、そうだろうなということで、本当、余りお役には立ちませんでした、長い間、執行部の皆様方、それから議員の皆様方、ありがとうございました。お世話さまになりました。

(拍手)

○議長(安藤 二郎君) 最後になりましたけれども、松浦市長より御挨拶をよろしく願いたします。

[市長 松浦 正人君 登壇]

○市長(松浦 正人君) 御指名をいただきましたので、一言御挨拶を述べさせていただきます。

まずは、安藤二郎議長には、2期にわたり、また山田耕治副議長には1期、議長、副議長としての大役のお務め御苦勞さまでございました。ありがたく御礼申し上げます。

そして、今期をもって勇退されます山下和明議員、木村一彦議員、平田豊民議員、そして安藤二郎議長、各位には長きにわたり、多大な御尽力を賜りましたことに、心から感謝申し上げますとともに、市政発展のため、これからもお力添えを賜りますようお願い申し上げます。また、任期途中で急逝なされました重川恭年議員に、改めてこの場をおかりいたしまして、感謝と敬意を表する次第でございます。

残る20名の議員の皆様におかれましては、来るべき市議会議員選挙に立候補されることと存じますが、市制100周年に向け、揺るぎない防府市を築き上げていくための政策をお示しいただき、そして当選を果たされることを切望いたしております。

議員各位の今日までの多大なる御尽力に心から感謝申し上げますとともに、皆様の御多幸を念じ上げまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

---

○議長(安藤 二郎君) ありがとうございました。

これもちまして、平成28年第4回防府市議会定例会を閉会いたします。

長時間にわたり慎重な御審議をいただきまして、ありがとうございました。

なお、お疲れのところ大変申しわけございませんが、13時から全員協議会を開催いたしますので、3階の全員協議会室に御参集ください。

お疲れさまでございました。どうも御苦勞さまでした。

午前11時40分 閉会

---

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

平成28年10月3日

防府市議会議長 安藤二郎

防府市議会議員 行重延昭

防府市議会議員 中林堅造

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

平成28年10月3日

防府市議会議長

防府市議会議員

防府市議会議員